

テーマ：“キリストの十分性”を惑わせる偽りの教えはどんなものだったか？

※マタイ 7:15

「にせ預言者たちに気をつけなさい。彼らは羊のなりをしてやって来るが、うちは貪欲な狼です。」

※使徒 20:29-30

「私が出発したあと、狂暴な狼があなたがたの中に入り込んで来て、群れを荒らし回ることを、私は知っています。あなたがた自身の中からも、いろいろな曲がったことを語って、弟子たちを自分のほうに引き込もうとする者たちが起こるでしょう。」

※1 ヨハネ 4:1

「愛する者たち。霊だからといって、みな信じてはいけません。それらの霊が神からのものかどうかを、ためしなさい。なぜなら、にせ預言者がたくさん世に出て来たからです。」

○十分性を脅かす偽りの教え：三つの危険な教え

1. 律法主義(16-17)

2. _____(18-19)

●危険な神秘主義：

1) 危険な神秘主義への_____

「ほうびをだまし取られてはなりません」[2017年版：「あなたがたを断罪することがあってはなりません」]

(「_____」カタ+「_____」(ブラビューオ))

2) 危険な神秘主義の_____

「神秘主義とは、日常生活の主観的な体験を通して、個人が神と即座に接触できるという教えである。」

「神秘主義とは、神や究極の現実についての直接的な知識は、歴史的事実や客観的な神の啓示とは別の、あるいはそれに反する、個人的で主観的な直観や経験を通して達成されるという考え方です。」(ジョン・マッカーサー)

a) _____(18a)

※ピリピ 2:3

「何事でも自己中心や虚栄からすることなく、へりくだって、互いに人を自分よりもすぐれた者と思いなさい。」

b) _____(18b)

「クリスチャンは神の教会を捨てて、天使に祈ったり、集会を開いたりしてはならない。」(ラオデキヤ公会議)

「聖パウロが非難したこの病(御使い礼拝)は、フルギヤとピシデヤで長い間続いた。」(神学者テオドレトス)

※マタイ 4:10

「イエスは言われた。「引き下がれ、サタン。『あなたの神である主を拝み、主にだけ仕えよ』と書いてある。」」

※黙示録 19:10

「そこで、私は彼を拝もうとして、その足もとにひれ伏した。すると、彼は私に言った。「いけません。私は、あなたや、イエスのあかしを堅く保っているあなたの兄弟たちと同じしもべです。神を拝みなさい。」

c) _____(18c)

※2 テモテ 3:16-17

「聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。それは、神の人が、すべての良い働きのためにふさわしい十分に整えられた者となるためです。」

「1820年の春、ジョセフ・スミスがニューヨーク州西部にあった自宅近くの森で祈っているとき、父なる神とイエス・キリストが御姿を現されました。1800年代の始め、アメリカ合衆国では宗教に関するひどい騒ぎがありました。ジョセフの家族はそれぞれ異なる教会に加わっていましたが、ジョセフはどの教会に加わるべきか決めかねていました。ジョセフは14歳のときに、ヤコブの手紙 1:5に触発されました。この聖句には次のような約束が記されています。「あなたがたのうち、知恵に不足している者があれば、その人は、とがめもせず惜しみなくすべての人に与える神に、願い求めるがよい。」ジョセフは、どの教会に加わるべきかが分かるよう祈り、罪の赦しを乞うことにしました。ジョセフが心の望みを打ち明けると、闇の力に打ち負かされそうになりました。暗い闇が周りに集まってきて、物が言えなくなったのです。ジョセフはあらん限りの力を尽くして神に叫び求めました。ジョセフはその後起こったことをこのように説明しています。「わたしは自分の真上に、太陽の輝きにも勝って輝いている光の柱を見た。そして、その光の柱は次第に降りて来て、光はついにわたしに降り注いだ。そして、その光がわたしの上にとどまったとき、わたしは筆紙に尽くし難い輝きと栄光を持つ二人の御方がわたしの上の空中に立っておられるのを見た。すると、そのうちの御一方がわたしに語りかけ、わたしの名を呼び、別の御方を指して、『これはわたしの愛する子である。彼に聞きなさい』と言われた。」光が現れた瞬間、ジョセフは自分を縛っていた敵から解放されたのを感じました。それから数日間、ジョセフは大きな喜びと愛を感じました。示現の間に、どの教会が正しいかと尋ねると、どれにも加わってはならないとイエス・キリストは答えられました。主は、当時の教会は「誤った教義を信じており、神が御自分の教会と王国として認めているものはない」と説明されたのです。最初の示現は、この最後の神権時代におけるイエス・キリストの福音の回復の幕開けとなりました。ジョセフ・スミスは末日における主の預言者として選ばれました。時を経て、主はジョセフ・スミスを通して御自分の権能と教会を回復されました。」(モルモン教)

「ある大きな教会の牧師が、教会の移転を望んでいました。その考えは信徒の何人かに不評でしたが、彼は神秘主義に訴えることで、それが神の御心であると説得しました。彼は三度にわたって主ご自身が彼に語りかけ、ある場所に教会を移転するよう指示されたと話したのです。牧師は三度目に主がこう言われたと主張しました。『時が来ました。その問題は私に任せなさい。私が多くの人の心に働きかけよう。理解できない人も中にはいるだろう。従わない人もいるだろう。しかし、ほとんどは従うだろう。行って、私の命令に従いなさい。』牧師はこの計画を会衆に提示したとき、それをカレブとヨシュアが約束の地に入るといイスラエル人への挑戦になぞらえました。そして、こう付け加えたのです。『もし、神の美しい計画を捉えることができないのであれば理解しますが、教会は神の計画に従うこの機会を逃すわけにはいきません。私たちと一緒に行かないのなら、それは理解します。皆さんを悪だとは思いません…私は、私たちが神の計画に向かって進んでいくことを望んでいます。そして、皆さんも一緒に進んで欲しいと思っています。そうすれば、神も祝福してくださるでしょう。』」

d) _____(18d)

※ローマ 8:6-7

「肉の思いは死であり、御霊による思いは、いのちと平安です。というのは、肉の思いは神に対して反抗するものだからです。それは神の律法に服従しません。いや、服従できないのです。」

e) _____(19a)

3) 危険な神秘主義への _____

※ヨハネ 15:4-5

「わたしにとどまりなさい。わたしも、あなたがたの中にとどまります。枝がぶどうの木についていなければ、枝だけでは実を結ぶことができません。同様にあなたがたも、わたしにとどまっていなければ、実を結ぶことはできません。わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人の中にとどまっているなら、そういう人は多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないからです。」